



# 「あきたのそちから」に学ぶ 研究授業を積み重ねて、授業改善を図る！

©岡山県「ももっち」

城南小学校では、授業を見たり、見られたりする機会が多いことで、職員同士で日常的に授業についての話をする機会が多く、年間を通して計画的に研究授業が行われています。さらに、校内の授業公開だけでなく、教育事務所から指導主事が訪問する研究授業も多いようです。今号では、城南小学校における研究授業の具体的な取組を紹介します。

## 令和2年度城南小学校 研究授業の年間スケジュール



©岡山県「うらっち」

月	5月	6月	7月	9月	10月	11月
校内	提示授業 (2年 国語)	提示授業 (6年 国語)	全体公開授業 (3年 国語)			
		指定訪問 授業研究会 (3年 外国語)		指定訪問 授業研究会 (2年 算数) (6年 算数) ※少人数指導について	指定訪問 授業研究会 (1年 国語) (5年 国語) ※授業マイスター  市教育研究会 (6年 国語)	指定訪問 授業研究会 (3年 理科) (5年 特活) ※教育事務所から指定された教科を行う。

提示授業については、本通信の7号に詳しく紹介しています。

※表には、**全員**で指導案を検討し、授業を参観して授業後の協議を行う授業のみ、掲載しています。

城南小学校では今年度、11回の研究授業が行われています。そのうち教育事務所の訪問が5回あり、6名の指導主事が来校し、授業を行う教員17名のうち10名が、直接、指導主事から授業の指導・助言を受けています。城南小学校では、授業者だけでなく、協議に参加した全員が自分事として捉えることで、授業改善につなげています。また、その他の7名の教員も、校内において公開授業を実施しています。

### 城南小学校における研究授業の特徴

積極的な授業公開により、指導主事からのフィードバックを次のステップにつなげている。



#### ○市教委との連携：授業マイスター

大館市では、すぐれた授業実践を行う教員（今年度は14名）が、**授業マイスター**として授業を公開し、市内の先生方の参加を推奨しています。特に採用10年目までの教員は、年間2回、授業マイスターの行う授業の参観と授業後の懇談の参加が義務づけられています。

10月に、城南小学校の授業マイスター2名が研究授業を行った際には、指定訪問授業研究会と兼ねることで市教委だけでなく教育事務所の指導主事も参加して指導講評をするなど、教員の授業力向上を図る取組が充実しています。

#### ○県教委との連携：指定訪問授業研究会

城南小学校は、他校に比べると回数が多いようですが、秋田県ではどの学校においても年間複数回、教育事務所の指導主事が学校を訪問する**指定訪問授業研究会**が行われています。

教育事務所や出張所（秋田県は、3つの教育事務所と5つの出張所があります。）に多くの指導主事が配置されており、指導主事はそれぞれ専門教科を担当することができるので、国語や算数・数学に偏らないように、県教委が計画的に学校に教科等を割り振った訪問を行い、授業力の向上に努めています。

秋田県では、指導主事が参加する研究授業を積み重ねることで、校内だけでなく市全体、県全体で授業改善の取組を進めています。「主体的・対話的で深い学び」の授業の実現に向け、学校の取組を教育委員会が支援し、授業改善を図っています。

岡山県においても、今年度から「管理職のビジョンと戦略を支援する学校訪問」を通して、学校経営を推進する校長先生方のビジョンの実現に向け、授業改善のお手伝いもしたいと考えています。学校と教育委員会が協力して「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を進めていきたいと思います。